



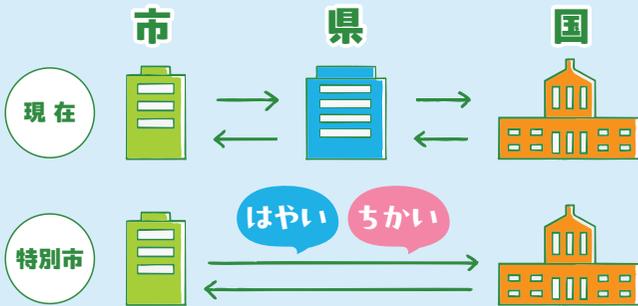
# 仙台市を特別市に

仙台市は、新しい自治体のかたち＝特別市を目指しています。

# 特別市ってなに？

市民の皆さんの日常が、  
もっと **はやく** **ちかく** なる  
新しいまちのカタチです。

特別市は、市が県の区域から外れるとともに、原則として県の仕事をすべて担い、権限と財源を市に一本化するものです。市のことは市で完結できる新しい仕組みで、緊急時の対応が**はやく**なります。また、市民や市内の事業者の皆さんから徴収した税金を、市の実情に応じて活用しやすくなり、自分の**ちかく**に必要な施策が実現しやすくなるなど、たくさんのメリットがあります。



## 現在の指定都市制度



一層制・二層制とは、「道府県と市町村」という二層制になっている現在の仕組みから、特別市になると、仙台市が県から外れ、国と直接やりとりできるようになる一層制になります。

## 特別市制度



(※1) 県は、人的・物的資源を特別市以外の必要な市町村へ重点的に配分することで、特別市との役割分担が明確となり、持続的な行政運営の確保につながります。

暮らしがもっと便利になりそう

# なぜ仙台市は特別市を目指すの？

## 人口減少による課題解決

東北全体で人口減少や高齢化が進み、地域によっては行政サービスの維持が難しくなっています。



## 東京への一極集中是正

人口や仕事、経済などが東京に集中することで、地方の人口減少やにぎわいの低下を招いています。



## 緊急時の対応を迅速に

災害や感染症の流行などの緊急時に、市が国と直接やりとりができず、対応するまでに時間がかかっています。



## 税のより有効な活用

仙台市民は県税の多くを納めており、県の財政にとっても大きな役割を果たしています。しかし、企業誘致で増えた税収の一部は県に入ってしまうなど、市独自の取り組みや魅力あるまちづくり、圏域の成長に十分生かせていない現状があります。



## 非効率な二重行政の解消

似たような事務でも、県と市で窓口が分かれているなど、手続きがわかりにくく、時間やお金がかムダになってしまっていることがあります。



私たちの税金が、もっと私たちの暮らしに  
生かされたら、うれしいね



# 特別市で暮らしやすさアップ!

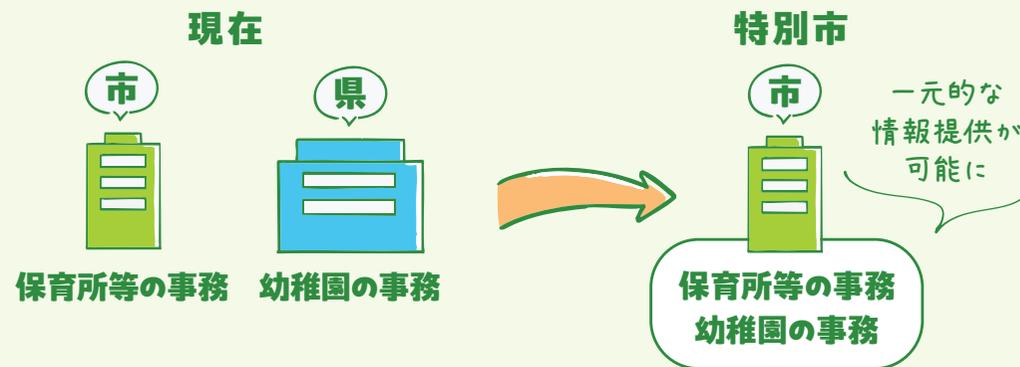
## 効率的に進む、 身近な道路の交通安全

特別市になることで、交通安全に関わる管理が一本化され、仙台市が一体的に信号や横断歩道などを整備することができます。効率的な交通安全対策が実現するとともに、道路を利用する市民の皆さんの安全性が高まります。



## 子育て関連情報の一元化

特別市になると、幼稚園と保育所等の事務権限が市に一本化され、事業者の利便性の向上が図られるとともに、子育て支援に関するさまざまな情報の一元的な提供が可能になります。



身近な道路の交通安全対策も安心だね



# もっと便利! もっと安心! 特別市で仙台が変わる!

## 地域に合わせた保健医療

県の権限となっている医療の計画づくりなどを市が行うことで、地域の実情やニーズをよりの確に反映させた保健医療サービスの実現につながります。



## 市役所がもっと身近に

これまで県が担っていた業務を、より身近な市が行うことで、市民の皆さんのニーズを的確に把握しやすくなります。また、市で扱う業務が増えることで、行政サービスの向上につながります。



## 暮らしを守る防犯対策

仙台市が独自に治安や防犯対策を強化でき、地域に合わせた迅速な対策で、市民の皆さんの安全を守ることができます。



## 未来を創る仙台市のまちづくり

仙台市は、持続的に活力を生み続けるため、地方創生の取り組みを進めています。防災環境都市づくりや産学官連携によるスマートシティへの挑戦により、都市のブランド化やDXを推進。さらに、本市の都市個性やコンテンツを生かした、これまでの枠にとらわれない「攻めの観光」を展開するなど、未来を切り拓く新たな挑戦を続けていきます。



●防災・減災の知見や実績が評価され、国内で初めてMCR2030レジリエンス・ハブ認定



●自動運転バス



●青葉山ナイトイベント

特別市で変わる仙台、ワクワクするわ



# 仙台市のこれまでの取り組み

## 起業・DX・観光で 東北一体となった取り組みを推進

仙台市は、スタートアップ支援(起業支援)やDX、観光振興などにおいて、東北一体となった取り組みを推進しています。「仙台グローバルスタートアップ・ハブ」や「TOHOKU DX GATEWAY」などを通じ、東北全域の起業家や地域課題の解決を支援・後押ししています。さらに、東北の各自治体と、UIターン関連イベントを開催するほか、モデルコースづくり、国内外への情報発信を通じて、交流人口の拡大や地域の活性化を進めています。

### 起業支援

仙台スタートアップスタジオ  
仙台グローバルスタートアップ・ハブ

### DX推進

「TOHOKU DX GATEWAY」で、  
東北共通の課題の解決を後押し

### 観光振興

東北ならではの豊かな観光資源の活用で  
東北全域での交流人口の拡大・関係人口の創出を図る



●仙台グローバルスタートアップ・ハブ



●首都圏でのイベント開催の様子



●TOHOKU DX GATEWAY



●東北絆まつり2024仙台

仙台を起点にどんどん活力が広がるね!

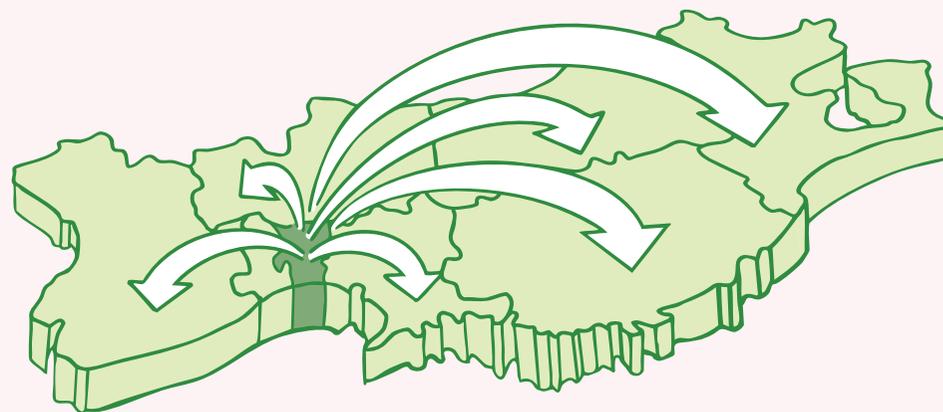




# 杜の都が目指す、特別市！ 仙台が活性化すれば、宮城・東北全体も元気になるね！

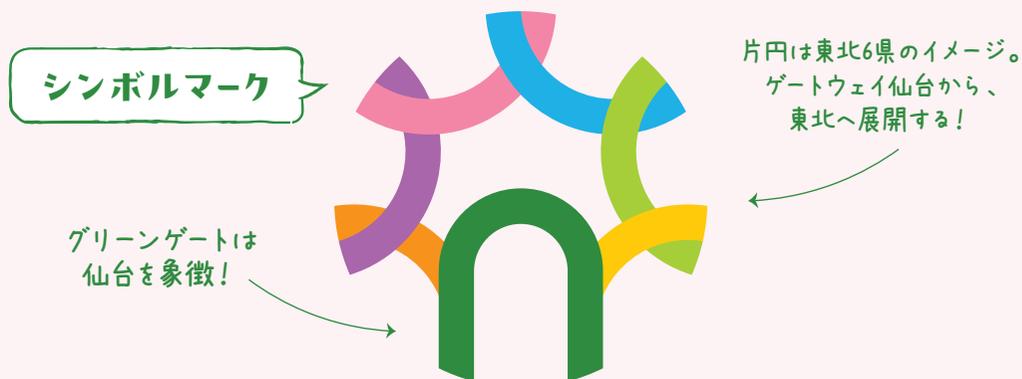
## 特別市で実現する、宮城・東北の発展

仙台市は、特別市になることで移譲される権限と財源を生かし、地域経済の活性化や交流人口の拡大などを図ります。市民の皆さんにより近い施策を実現できるだけでなく、宮城・東北全体のための取り組みに一層力を入れることができます。

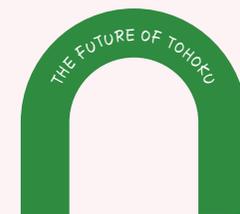


## 仙台を起点に広がる、東北の活力

仙台市は、東北のゲートウェイとして重要な役割を担っています。特別市の実現を通じて、東北の地域資源や魅力を最大限に活用した取り組みを強化します。こうして生まれる成果を、仙台市を起点に東北全体に波及させ、東北の発展につなげていくため「特別市」となることを目指します。



東北全体が生まれ変わりそうだね！



# 知っておきたい！特別市 Q&A



Q

なぜ今、特別市が必要なのですか？

人口減少により、1つの市町村だけでは行政サービスを続けるのが難しくなります。「特別市」が実現すると、県と特別市で仕事を分担したり、特別市が周りの市町村と協力して、効率的にサービスが続けられるようになります。

A



Q

市民の生活にどのようないいことがありますか？

窓口が市に一本化されるため、「県と市、どちらに相談したらいいの？」という場面が減ります。また、さまざまな課題に、より早く対応できるようになります。

A



Q

市と県の間隔はどのように変わりますか？

特別市になり、市が県の区域から外れることで、県と特別市の役割がはっきりし、連携しやすくなります。特別市のことは特別市が対応し、県はそれ以外の地域の支援に注力することができます。

A



Q

特別市はどのようにして実現するのですか？

国の法律を変える必要があります。最終的には住民投票などにより、市民の皆さんの意見を聞いて判断することも考えられています。

A



仙台市まちづくり政策局政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1  
TEL. 022-214-1245 FAX. 022-268-4311  
Email. mac001620@city.sendai.jp

特別市

解説動画を  
公開中！

